

消防だより

令和8年(2026年)
4月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 5件
救急 : 434件
救助 : 9件

令和8年度全国統一防火標語 「火の確認 いい日を支える いい習慣」

熱中症に注意を！

気温や湿度が高くなるこれからの季節、注意が必要となるのが熱中症です。屋外だけでなく室内でも発症し、重症化すると命に関わる危険があります。

特に高齢者や子どもは注意が必要です。高齢者は暑さに対する体の調節が難しい場合があります。また、子どもは調節能力がまだ十分に発達していません。そのため発症に気付くのが遅れて、重症化してしまうことがあるので、気を配る必要があります。

熱中症を発症すると、目まい・立ちくらみ・こむら返り・頭痛・吐き気などが現れ、重症化すると意識障害やけいれんなどの症状が見られます。

予防

- ・喉が渇く前から、小まめに水分・塩分を補給する。
- ・エアコンや扇風機を活用し、室温を適切に保つ。
- ・通気性の良い服や帽子を着用し、直射日光を避ける。
- ・睡眠不足や体調不良は熱中症のリスクを高めるため、日頃から体調を整える。
- ・「熱中症警戒アラート」発表時には無理な外出は避ける。

応急手当

- ・日陰やエアコンの効いた涼しい場所へ移動する。
- ・衣類を緩めて首・脇の下・足の付け根など、太い血管がある部分を冷たいタオルや保冷剤で冷やす。
- ・スポーツドリンクや経口補水液を補給する。

熱中症は正しい予防と早期対応で防ぐことができます。一人一人が意識を高め、暑い季節を安全に過ごしましょう。



6月第2週は危険物安全週間

6月7日(日)から13日(土)まで危険物安全週間が実施されます。

危険物とは、ガソリンや灯油など、私たちの身近にあり生活に欠かすことができないものですが、その取り扱いを誤ってしまうと、大きな事故を引き起こす危険性を持っています。身の回りにある危険物の性質や使い方を十分理解し、正しく安全に取り扱い、事故を未然に防ぎましょう。

令和8年度(2026年度)
危険物安全週間推進標語

「つかみ取れ！
めざす無事故の頂を」

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

